

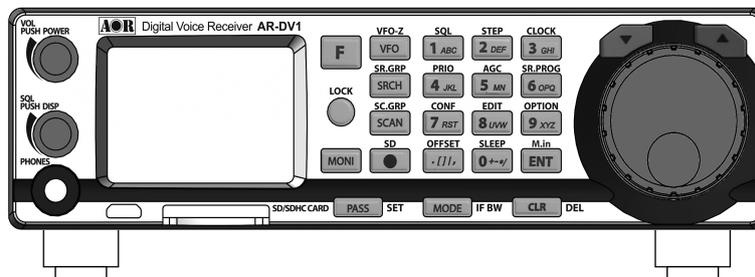


SDR デジタルボイスレシーバー

AR-DV1

コマンド説明書

第1版



株式会社 エーオーアール

Authority On Radio Communications

目次

1	パソコンとの接続	3
1-1	USB インターフェース	3
1-2	USB ドライバ ソフトウェア	3
2	リモート制御状態	3
3	コマンドの一般的な書式	4
4	コマンド応答の一般的な書式	4
5	コマンド一覧	5
5-1	コマンド一覧 (アルファベット順).....	5
5-2	基本操作.....	7
5-3	スケルチ	10
5-4	デジタル復調.....	13
5-5	受信オプション.....	14
5-6	時計、アラーム、タイマ録音	18
5-7	受信機設定	19
5-8	SD カード.....	24
5-9	VFO.....	27
5-10	サーチ	28
5-11	メモリチャンネル.....	32

1 パソコンとの接続

1-1 USB インターフェース

AR-DV1 受信機は USB(micro B)コネクタと PC の USB ポートとの間を直接に USB ケーブルで接続するように設計されています。

使用する USB ケーブルは、データ転送のできない「充電専用」ケーブルではなく、「データ転送ができる」ケーブルであることをご確認ください。

AR-DV1 の全ての機能は、このコマンド説明書にしたがって、ハイパーターミナル ソフトウェアを使用することにより、パソコンでコントロール可能です。

USB ドライバソフトウェアは、最初に PC にインストールする必要があります。

1-2 USB ドライバ ソフトウェア

インターネットに接続した PC に受信機を接続すると、ウィンドウズ OS がインターネットから必要な USB ドライバ ソフトウェアを自動的にダウンロードし、インストールします。

注意: ウィンドウズ OS が受信機の接続を検出していない場合は、おそらく、お使いの USB ケーブルがデータ転送のできない充電専用ケーブルです。適切なケーブルをお使いください。

ウィンドウズ OS が自動的にドライバをインストールすることに失敗した場合は、次のリンク先から手動でダウンロードしてください。

<http://www.silabs.com/products/mcu/Pages/USBtoUARTBridgeVCPDrivers.aspx>

このリンク先のページの記載のうち、お使いのウィンドウズ OS に対応するドライバのバージョンをインストールしてください。

通信プロトコルの仕様は次のとおりです。

通信速度(SB コマンドで選択可能): 115,200 bps (初期値) 57,600 38,400 19,200 9,600 bps

データ長: 8 bit

ストップビット長: 1 bit

パリティ: なし

フロー制御: なし

エコー: なし

デリミタ(PC->AR-DV1): <CR>(0x0d) (<LF> は無視)

デリミタ(AR-DV1->PC): <CR><LF>(0x0d, 0x0a)

2 リモート制御状態

AR-DV1 を PC に接続し、AR-DV1 の電源をオンにします。

AR-DV1 は PC からなんらかのデータを受信すると、コマンドに応答し、リモートコントロールモードに入ります。リモートコントロールモードでは、[MHz]キーを押す、または、EX コマンドを送ることを除き、フロントパネルのキー、ノブ、メインダイヤルの操作は無効です。

[MHz]キーを押す、または、EX コマンドを送ることで、リモートコントロールモード終了します。

キーロック機能は、リモートコントロールモードにより無効になります。

タイマ録音中は、RX、TR、ZP を除くすべてのコマンドが拒否されます。

AR-DV1 が電源オフ状態の場合は、ZP コマンド(電源 ON)のみが有効です。

3 コマンドの一般的な書式

<コマンド><CR>

<コマンド><引数><CR>

<コマンド 1><引数 1><SP><コマンド 2><引数 2><SP>…<CR>

各コマンドの終端文字は<CR>(0x0d)です。

各コマンドと引数との間に<SP>(空白文字)はありません。<CR>の直前に<SP>はありません。複数のコマンドを含む場合は、各コマンドの間には<SP>が必要です。

コマンドは ASCIIコード 2 文字の大文字で構成され、引数は省略可能なもの、一部省略可能なもの、省略不可能なものがあります。

4 コマンド応答の一般的な書式

AR-DV1 にコマンドを送ったあと、AR-DV1 から対応する応答があります。

無効なコマンドを AR-DV1 に送った場合は、次の応答があります。

異常応答(基本書式)

? <CR><LF> (0x3f, 0x0d, 0x0a)…………… 異常応答

正常応答(基本書式)

<SP><CR><LF> (0x20, 0x0d, 0x0a) …………… 正常応答(応答値を返さない場合)

<応答値><SP><CR><LF> …………… 正常応答(応答値を 1 個返す場合)

<応答値 1><SP><応答値 2><SP>…<CR><LF> …………… 正常応答(応答値を 2 個以上返す場合)

リザルトコード付加が有効の場合の応答

応答の先頭に数字 2 字のリザルトコードを付加した書式を選択することが可能です。(詳細は次項)

例 1: ノイズスケルチのレベルを取得する場合 (NQ コマンド)

コマンド送信 NQ<CR> → 応答 20NQ35<SP><CR><LF>…………… (基本書式: NQ35<SP><CR><LF>)

例 2: 受信音量 (AG コマンド)をレベル 10 に設定

コマンド送信 AG10<CR> → 応答 20<SP><CR><LF>…………… (基本書式: <SP><CR><LF>)

リザルトコード

リザルトコードはコマンドの応答の種類(正常、異常、継続行あり)を数字 2 字で簡素にあらわします。

■ 1 桁め: 正常応答、または、異常応答、および、その種類

- 1 正常応答: AR-DV1 側からの能動的な通知、PC 側からコマンドを送らなくても AR-DV1 側より一方的に送られてくるメッセージ
- 2 正常応答: PC からのコマンドの正常受理と通知
- 3 異常応答: 現在は実行できないコマンドを受理した
- 4 異常応答: コマンドの書式に誤りがある、もしくは、引数の桁数が誤っている
- 5 異常応答: 引数の範囲に誤りがある
- 6 異常応答: 不明のコマンド

■ 2 桁め: 継続行あり、または、最終行

- 0 最終行または単一行
- 1 継続行あり

5 コマンド一覧

5-1 コマンド一覧 (アルファベット順)

コマンド	R/W	注	機能	ページ	コマンド	R/W	注	機能	ページ
AC	R/W	*2	AGC	14	PR	R		パス周波数一覧	31
AG	R/W		音量	7	PT	R/W		プロテクト	20
AS	R/W	*4	オートストア	30	PW	W		パス周波数設定	30
BK	R/W	*2	パンクリンク	30	QP	W		電源オフ	7
BP	R/W		ビーブ音	19	RE	R/W		リザルトコード付加	20
CI	R/W	*2	トーンスケルチ ON/OFF	13	RF	R/W		受信周波数	8
CN	R/W	*2	トーンスケルチ周波数	11	RG	R/W		マニュアルゲイン	14
DC	R/W	*2	デジタル簡易秘話コード	13	RN	R/W		シリアル番号	22
DI	R/W	*2	DCS ON/OFF	11	RS	W		リセット	23
DJ	R/W	*2	デジタル付随情報出力	13	RT	R/W		受信機状態定期通知	21
DK	R		デジタル付随情報取得	13	RX	R		受信機状態通知	22
DL	R/W	*3	デレー時間	17	SB	R/W		リモート回線速度	22
DS	R/W	*2	DCS コード	12	SC	R/W	*2	秘話反転周波数	17
DT	R/W		システムクロック	18	SD DIR	R		ファイル一覧	24
EX	W		リモート状態解除	9	SD INF	R		カード情報取得	24
FR	R/W	*3	フリー時間	17	SD MMR	W		カードよりリストア	26
IF	R/W	*2	IF 帯域幅	12	SD MMW	W		カードへバックアップ	26
KL	R/W		キーバックライト色	19	SD PLY	W		再生	25
LB	R/W		LCD バックライト	19	SD PST	R		カードアクセス状態	25
LC	R/W		周波数情報出力	20	SD REC	W		録音	25
LD	R/W		LCD DIMMER	19	SD RSQ	R/W		スケルチスキップ	26
LM	R		S メータ値取得	20	SE	W	*1	サーチバンク設定	28
LN	R/W		LCD コントラスト	19	SG	R/W	*1	サーチグループ	28
LQ	R/W		レベルスケルチ	10	SH	R/W		ステップアジャスト	8
LS	R/W	*2	オートノッチ	15	SI	R/W	*2	秘話反転 ON/OFF	17
LT	R/W		S メータ値定期通知	21	SL	R/W		サーチバンク下限周波数	29
MA	R		メモリチャンネル読み出し	32	SP	R/W		スリープタイマ	18
MB	W		メモリバンク削除	34	SQ	R/W	*2	スケルチ選択	10
MD	R/W		復調モード	9	SR	R		サーチバンク読み出し	28
MG	R/W	*1	スキャングループ	33	SS	W		プログラムサーチ実行	28
MM	W		ラストワンメモリへ手動登録	23	ST	R/W		ステップ周波数	8
MP	R/W	*5	パスチャンネル	34	SU	R/W		サーチバンク上限周波数	29
MQ	W		メモリチャンネル削除	34	SX	W	*1	サーチバンク削除	28
MR	W		メモリチャンネル読み出しモード	32	TI	R/W		プライオリティ受信間隔	16
MS	W		メモリスキャンモード	33	TR	R/W		アラーム/タイマ録音	18
MW	R/W		メモリバンク	33	VE	R/W	*1	VFO サーチ設定	27
MX	W	*1	メモリチャンネル設定	32	VF	W		VFO 受信	27
NQ	R/W		ノイズスケルチ	10	VI	R		VFO 情報	27
NR	R/W	*2	ノイズリダクション	15	VQ	R/W	*2	ボイススケルチ	10
OF	R/W	*2	オフセット受信	15	VR	R		バージョン情報	24
OL	R/W		オフセット周波数	15	VS	W		VFO サーチ	27
OX	R/W		モニタ・オフセット	16	WI	R		受信機型式読み出し	22
PD	W		パス周波数削除	31	ZI	R/W		受信機 ID	20
PO	R/W		プライオリティ受信 ON/OFF	16	ZK	W		次の周波数、バンク、チャンネルへ	9
PP	R/W		プライオリティ受信チャンネル	16	ZJ	W		前の周波数、バンク、チャンネルへ	9
PR	R		パス周波数一覧	31	ZP	W		電源オン、接続	7

注意 *1～5 について

前表のコマンド一覧で次の番号を付記したコマンドは、次に記載の各番号の動作状態において設定値を変更した際に、受信機の動作状態はただちに変化しますが、メモリにはただちに記録されず、複数の設定内容等をまとめて記録するため、設定値を変更直後にその設定値を読み出した時に、設定変更前の内容が読み出される場合があります。

明示的に(ただちに)メモリへ記録するためには MM2 コマンドを使用する方法があります。(通常の実機動作においては、このコマンドの使用は必須ではありません。)

*1 常時

*2 メモリチャンネル読み出し、スキャン、サーチ時

*3 メモリチャンネル読み出し、スキャン、サーチ、VFO、VFO サーチ時

*4 サーチ、VFO サーチ時

*5 メモリチャンネル読み出し、スキャン時 (MPbb(=引数が 2 桁)を除く)

各種コマンドの詳細

5-2 基本操作

ZP 電源オン、接続 (リモートコントロール状態になる)

設定書式:	ZPnn / ZP
引数:	nn: 00 ~ 99 (受信機 ID) 引数 nn が 01~99 の場合は、受信機 ID が一致した AR-DV1 のみが有効(不一致は無視) 引数 nn が 00 は受信機に設定した ID に関わらず有効 引数 nn を省略した場合は、nn = 00
応答書式:	AOR AR-DV1 (コマンドを受信した直後) VER. XXXX READY (起動処理が全て完了した時. XXXX はバージョン) (このコマンドの戻り値の行頭に ZP は付加しません)
リザルトコード:	10 --- AR-DV1 VER. XXXX READY 20 --- 正常に電源投入、もしくは接続できた(AOR AR-DV1) 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

QP 電源オフ、リモートコントロール状態から解放

設定書式:	QPnn / QP
引数:	nn: 00 ~ 99 (受信機 ID) 引数 nn が 01~99 の場合は、受信機 ID が一致した AR-DV1 のみが有効(不一致は無視) 引数 nn が 00 は受信機に設定した ID に関わらず有効 引数 nn を省略した場合は、nn = 00
応答書式:	AR-DV1 GOTO SHUTDOWN (コマンドを受信した直後、電源オフ処理を開始した時) HALT (電源オフ処理が全て完了した時. この直後に電源が切れる ※電源が切れるまでに応答受信できない場合あり) (このコマンドの戻り値の行頭に QP は付加しない)
リザルトコード:	10 --- 電源オフ処理完了(HALT) 20 --- 正常に電源オフ処理を開始した (AR-DV1 GOTO SHUTDOWN) 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

AG 音量

設定書式:	AGnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nn: 00 ~ 99 (オーディオ音量、00 は消音)	
読出書式:	AG	
応答書式:	AGnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

RF 受信周波数

設定書式:	RFnnnn.nnnnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nnnn.nnnnn: 0.1 ~ 1300.0 (受信周波数、単位 MHz) 引数の桁(前ゼロ、小数の後ゼロ)は省略可能. 小数点は必須	
読出書式:	RF	
応答書式:	RFnnnn.nnnnn (単位 MHz)	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)現在受信中のモードで設定できない周波数が指定された 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	VFO モード: 設定値を即座に受信周波数にする VFO サーチモード: 設定値が VFO-A と VFO-B の範囲内の場合は設定値を即座に受信周波数にしてサーチを継続する. 範囲外の場合はリザルトコード 30 のエラーを返す. プログラムサーチモード: 設定値がサーチ対象のバンク(リンクしているバンクを含む)の範囲内の場合は設定値を即座に受信周波数にしてサーチを継続する. 範囲外の場合はリザルトコード 30 のエラーを返す.	

ST ステップ周波数

設定書式:	STnnn.nn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nnn.nn: 0.01 0.05 0.1 0.5 1.0 2.0 5.0 6.25 8.33 9.0 10.0 12.5 15.0 20.0 25.0 30.0 50.0 100.0 500.0 (単位 kHz) 引数の桁(前ゼロ、小数の後ゼロ)は省略可能. 小数点は必須	
読出書式:	ST	
応答書式:	STnnn.nn (単位 kHz)	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)現在受信中のモードで設定できない周波数が指定された 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が指定値外	
補足:	VFO モード、VFO サーチモード: 設定値を即座に反映 プログラムサーチモード: このコマンドでの設定は一時的となり、SS コマンドによって他のバンクを指定する、または、他の動作モードに移動するまで有効 メモリチャンネル読み出しモード、メモリスキャンモード: 無効	

SH ステップアジャスト

設定書式:	SHnnn.nn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nnn.nn: 0.05 0.25 0.5 1 2.5 3.12 4.16 4.5 5.0 6.25 10.0 12.5 15.0 25.0 50.0 250.0 (単位 kHz)	
読出書式:	SH	
応答書式:	SHnnn.nn (単位 kHz)	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が指定値外	
補足:	VFO モード、VFO サーチモード: 設定値を即座に反映 プログラムサーチモード、メモリチャンネル読み出しモード、メモリスキャンモード: 無効	

MD 復調モード (復調モードの設定と設定内容の読み出し、および、現在復調中のモードの読み出し)

設定書式: MDdan / MDda	(応答値を返さない正常応答)
引数: d: デジタル復調読み出しモード 0: デジタル復調していない 1 (D-STAR) 2 (YAESU) 3 (ALINCO) 4 (D-CR/NXDN) 5 (P25) 6 (dPMR) 7 (DMR) a: デジタル復調設定モード 0: デジタルオートモード 1 (D-STAR) 2 (YAESU) 3 (ALINCO) 4 (D-CR/NXDN) 5 (P25) 6 (dPMR) 7 (DMR) F (デジタル復調 OFF) n: アナログ復調モード (省略可能、省略時は 0。0 以外は a に F が設定される) 0 (FM) 1 (AM) 2 (SAH) 3 (SAL) 4 (USB) 5 (LSB) 6 (CW)	
読出書式: MD	
応答書式: MDdan	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が指定値外	

ZJ 前の周波数、バンク、チャンネルへ移動

設定書式: ZJ	(応答値を返さない正常応答)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定できた 40 --- 書式誤り	

ZK 次の周波数、バンク、チャンネルへ移動

設定書式: ZK	(応答値を返さない正常応答)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定できた 40 --- 書式誤り	

EX リモート状態解除

設定書式: EXnn / EX (nn: 受信機 ID、省略時は nn = 00)	
応答書式: DISCONNECTED (設定成功時)	
リザルトコード: 20 --- 正常に設定できた 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が指定値外	

5-3 スケルチ

SQ スケルチ選択

設定書式: SQn	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0 (自動) 1 (ノイズスケルチ) 2 (レベルスケルチ)	
読出書式: SQ	
応答書式: SQn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が指定値外	

NQ ノイズスケルチ

設定書式: NQnn	(応答値を返さない正常応答)
引数: nn: 00 ~ 99 ノイズスケルチ値、00=完全に開いている、99=完全に閉じている(設定値は LQ と連動)	
読出書式: NQ	
応答書式: NQnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

LQ レベルスケルチ

設定書式: LQnn	(応答値を返さない正常応答)
引数: nn: 00 ~ 99 レベルスケルチ値、00=完全に開いている、99=完全に閉じている (設定値は NQ と連動)	
読出書式: LQ	
応答書式: LQnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

VQ ボイススケルチ

設定書式: VQn VTppp VLr	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0 (機能 OFF) 1 (機能 ON) ppp: 000 ~ 255 デイレー時間、単位 0.1 秒 r: 0 ~ 7 スケルチレベル VT と VL は、同時に限り省略可	
読出書式: VQ	
応答書式: VQn VTppp VLr	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足: 機能の ON/OFF は VFO、バンク、チャンネルごとの設定 デイレー時間とスケルチレベルは、AR-DV1 全体で共通の設定	

CI トーンスケルチ ON/OFF

設定書式:	CI	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (トーンスケルチ動作 OFF) 1 (トーンスケルチ動作 ON)	
読出書式:	CI	
応答書式:	CI	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	機能の ON/OFF は VFO、バンク、チャンネルごとの設定	

CN トーンスケルチ周波数 (CTCSS)の周波数の設定または読み出し

設定書式:	CNnn	(応答値を返さない正常応答)																																																																													
引数:	nn: 01 ~ 52 --- トーン周波数に対応する次表の設定値 nn: 99 --- トーンサーチ																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>nn</th> <th>n0</th> <th>n1</th> <th>n2</th> <th>n3</th> <th>n4</th> <th>n5</th> <th>n6</th> <th>n7</th> <th>n8</th> <th>n9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0n</td> <td>-</td> <td>60.0</td> <td>67.0</td> <td>69.3</td> <td>71.9</td> <td>74.4</td> <td>77.0</td> <td>79.7</td> <td>82.5</td> <td>85.4</td> </tr> <tr> <td>1n</td> <td>88.5</td> <td>91.5</td> <td>94.8</td> <td>97.4</td> <td>100.0</td> <td>103.5</td> <td>107.2</td> <td>110.9</td> <td>114.8</td> <td>118.8</td> </tr> <tr> <td>2n</td> <td>120.0</td> <td>123.0</td> <td>127.3</td> <td>131.8</td> <td>136.5</td> <td>141.3</td> <td>146.2</td> <td>151.4</td> <td>156.7</td> <td>159.8</td> </tr> <tr> <td>3n</td> <td>162.2</td> <td>165.5</td> <td>167.9</td> <td>171.3</td> <td>173.8</td> <td>177.3</td> <td>179.9</td> <td>183.5</td> <td>186.2</td> <td>189.9</td> </tr> <tr> <td>4n</td> <td>192.8</td> <td>196.6</td> <td>199.5</td> <td>203.5</td> <td>206.5</td> <td>210.7</td> <td>218.1</td> <td>225.7</td> <td>229.1</td> <td>233.6</td> </tr> <tr> <td>5n</td> <td>241.8</td> <td>250.3</td> <td>254.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	nn	n0	n1	n2	n3	n4	n5	n6	n7	n8	n9	0n	-	60.0	67.0	69.3	71.9	74.4	77.0	79.7	82.5	85.4	1n	88.5	91.5	94.8	97.4	100.0	103.5	107.2	110.9	114.8	118.8	2n	120.0	123.0	127.3	131.8	136.5	141.3	146.2	151.4	156.7	159.8	3n	162.2	165.5	167.9	171.3	173.8	177.3	179.9	183.5	186.2	189.9	4n	192.8	196.6	199.5	203.5	206.5	210.7	218.1	225.7	229.1	233.6	5n	241.8	250.3	254.1	-	-	-	-	-	-	-	
nn	n0	n1	n2	n3	n4	n5	n6	n7	n8	n9																																																																					
0n	-	60.0	67.0	69.3	71.9	74.4	77.0	79.7	82.5	85.4																																																																					
1n	88.5	91.5	94.8	97.4	100.0	103.5	107.2	110.9	114.8	118.8																																																																					
2n	120.0	123.0	127.3	131.8	136.5	141.3	146.2	151.4	156.7	159.8																																																																					
3n	162.2	165.5	167.9	171.3	173.8	177.3	179.9	183.5	186.2	189.9																																																																					
4n	192.8	196.6	199.5	203.5	206.5	210.7	218.1	225.7	229.1	233.6																																																																					
5n	241.8	250.3	254.1	-	-	-	-	-	-	-																																																																					
読出書式:	CN																																																																														
応答書式:	CNnn nn: 00 --- トーンを検出していない(応答値のみ) nn: 01 ~ 52 (設定書式と同じ) CN99nn --- トーンサーチ(99)が設定されている場合の応答書式																																																																														
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(FM かつ IF 帯域幅 15kHz 以下でない) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外																																																																														
補足:	機能の ON/OFF は VFO、バンク、チャンネルごとの設定																																																																														

DI DCS ON/OFF

設定書式:	DIn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (DCS OFF) 1 (DCS ON)	
読出書式:	DI	
応答書式:	DIn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(FM かつ IF 帯域幅 15kHz 以下でない) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	機能の ON/OFF は VFO、バンク、チャンネルごとの設定	

DS DCS コード

設定書式:	DSnnn	(応答値を返さない正常応答)							
引数:	nnn: 017~754 --- 次表の DCS コード								
	nnn: 999 --- コードサーチ								
017	023	025	026	031	032	036	043	047	050
051	053	054	065	071	072	073	074	114	115
116	122	125	131	132	134	143	145	152	155
156	162	165	172	174	205	212	223	225	226
243	244	245	246	251	252	255	261	263	265
266	271	274	306	311	315	325	331	332	343
346	351	356	364	365	371	411	412	413	423
431	432	445	446	452	454	455	462	464	465
466	503	506	516	523	526	532	546	565	606
612	624	627	631	632	654	662	664	703	712
723	731	732	734	743	754	-	-	-	-
読出書式:	DS								
応答書式:	DSnnn								
	nnn: 000 --- コードを検出していない(応答値のみ)								
	nnn: 017~754 (設定書式と同じ)								
	DS999nnn --- コードサーチ(999)が設定されている場合の応答書式								
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた								
	30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(FM かつ IF 帯域幅 15kHz 以下でない)								
	40 --- (設定のみ)書式誤り								
	50 --- (設定のみ)引数が範囲外								
補足:	機能の ON/OFF は VFO、バンク、チャンネルごとの設定								

5-4 デジタル復調

DC デジタル簡易秘話コード

設定書式:	DCnnnnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nnnnn: 00000 ~ 32767 秘話コード	
読出書式:	DC	
応答書式:	DCnnnnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	日本のデジタル簡易無線のみ対象	

DJ デジタル付随情報出力

設定書式:	DJn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (デジタル付随情報出力 OFF) 1 (デジタル付随情報出力 ON)	
読出書式:	DJ	
応答書式:	DJn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

DK デジタル付随情報取得(最新の 1 メッセージのみ)

読出書式:	DK	
応答書式:	DKyyy...	
リザルトコード:	10 --- 信号を受信し情報を出力 20 --- 正常に読み出しができた 40 --- 書式誤り(不要な引数を付加など)	
補足:	DJ1 の場合は、DK コマンドに関わらず情報出力される	

5-5 受信オプション

ここで指定されるオプションは、(OL コマンドを除いて) すべてのコマンドが各 VFO/バンク/チャンネルごとの設定です。
OL コマンド (オフセット周波数) のみ、AR-DV1 全体での設定です。

AC AGC (Auto Gain Control)の設定または読み出し

設定書式:	ACn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (AGC Fast) 1 (AGC Medium) 2 (AGC Slow) 3 (MANUAL GAIN)	
読出書式:	AC	
応答書式:	ACn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- 設定不可能な状態(AM 系でない) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	復調モードが AM 系でのみ動作し、その他のモードではエラー	

RG マニュアルゲイン

設定書式:	RGnnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nnn: 000 ~ 099 マニュアルゲイン値、000=ゲイン最小、099=ゲイン最大	
読出書式:	RG	
応答書式:	RGnnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	AGC がマニュアルゲイン(AC3)の場合のみ設定内容が有効になるが、設定と読み出しは AGC の設定にかかわらず可能	

IF IF 帯域幅

設定書式:	IFn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	FM: n: 0 --- 200KHz, 1 --- 100KHz, 2 --- 30KHz, 3 --- 15KHz, 4 --- 6KHz AM: n: 0 --- 15KHz, 1 --- 8KHz, 2 --- 5.5KHz, 3 --- 3.8KHz SAH, SAL: n: 0 --- 5.5KHz, 1 --- 3.8KHz USB LSB: n: 0 --- 2.6KHz, 1 --- 1.8KHz CW: n: 0 --- 500Hz, 1 --- 200Hz 復調モードにより引数の意味が異なる	
読出書式:	IF	
応答書式:	IFn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態、復調モードが対応していない 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

LS オートノッチ

設定書式:	LSn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (機能 OFF) 1 (効きめ Low) 2 (効きめ Medium) 3 (効きめ High)	
読出書式:	LS	
応答書式:	LSn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

NR ノイズリダクション

設定書式:	NRn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (機能 OFF) 1 (効きめ Low) 2 (効きめ Medium) 3 (効きめ High)	
読出書式:	NR	
応答書式:	NRn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

OF オフセット受信

設定書式:	OFsnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	s: +/- オフセット方向 (nn=00 のみ、s を省略可能、+が指定される) nn: 00 ~ 39 オフセット番号	
読出書式:	OF	
応答書式:	OFsnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

OL オフセット周波数 (AR-DV1 全体での設定)

設定書式:	OLnn RFffff.ffff	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nn: 00 ~ 39 オフセット番号 ffff.ffff : オフセット周波数 (単位 MHz) オフセット番号 01 ~ 19: ユーザによる編集が可能 オフセット番号 20 ~ 39: 設定値はプリセット(固定)変更できない オフセット番号 00: オフセット周波数が固定 0 Hz.	
読出書式:	OLnn	
応答書式:	OLnn RFffff.ffff	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(編集できない番号を指定した) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

OX モニタ・オフセット (モニタ状態での設定または読み出し)

設定書式: OXn	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0 (モニタ・オフセット OFF) 1 (モニタ・オフセット ON) オフセット受信が有効な場合はオフセット受信状態となる オフセット受信が無効の場合はスケルチを完全に開いて受信	
読出書式: OX	
応答書式: OXn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足: この設定内容は、ラストワンスメモリに登録されず、電源オフすると OX0 になる OX1 に設定時に、動作モード、VFO、バンク、チャンネル、受信周波数のいずれかの変更で、自動的に OX0 になる	

PO プライオリティ受信 ON/OFF

設定書式: POn	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0 (プライオリティ受信機能 OFF) 1 (プライオリティ受信機能 ON)	
読出書式: PO	
応答書式: POn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(プライオリティ受信に指定しているチャンネルが未登録) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

PP プライオリティ受信チャンネル

設定書式: PPbbcc	(応答値を返さない正常応答)
引数: bb: バンク、cc: チャンネル	
読出書式: PP	
応答書式: PPbbcc	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足: 設定先チャンネルが未登録の場合でも指定可能で、正常応答になる	

TI プライオリティ受信間隔

設定書式: TImm	(応答値を返さない正常応答)
引数: mm: 01 ~ 99、単位 秒	
読出書式: TI	
応答書式: TImm	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

SC 秘話反転周波数 (米国の民生用用途向けバージョンには搭載していません)

設定書式:	SCnnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nnn: 200 ~ 700、10Hz 単位	
読出書式:	SC	
応答書式:	SCnnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(FM かつ IF 帯域幅 15kHz 以下でない) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

SI 秘話反転機能 ON/OFF (米国の民生用用途向けバージョンには搭載していません)

設定書式:	SIn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n:0 OFF、1 ON CI、DI、SI は、いずれかひとつのみ ON にできる。 他が ON の場合に SI を ON にすると、他は自動で OFF になる	
読出書式:	SI	
応答書式:	SIn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(FM かつ IF 帯域幅 15kHz 以下でない) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

DL デイレー時間

設定書式:	DLnnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nnn: 000 ~ 099、単位 0.1 秒、nnn=100 は無制限	
読出書式:	DL	
応答書式:	DLnnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(デイレー時間に無関係の動作モード時) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

FR フリー時間 (スキャン/サーチモード)

設定書式:	FRnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nn: 00 ~ 60、単位 秒、n: 00 (OFF)	
読出書式:	FR	
応答書式:	FRnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- (設定のみ)設定不可能な状態(フリー時間に無関係の動作モード時) 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

5-6 時計、アラーム、タイマ録音

DT システムクロック

設定書式:	DTyymmddhhMM	(応答値を返さない正常応答)
引数:	yy: 13 ~ 99 (西暦の下 2 桁)、mm: 01 ~ 12 (月を数字 2 桁)、dd: 01 ~ 31 (日を数字 2 桁) hh: 00 ~ 23 (時を 24 時間制で数字 2 桁)、MM:00 ~ 59 (分を数字 2 桁)	
読出書式:	DT	
応答書式:	DTyymmddhhMM	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

SP スリープタイマ

設定書式:	SPn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (スリープタイマ OFF もしくは 取り消し)、1 (15 分)、2 (30 分)、3 (60 分)、4 (90 分)、5 (120 分)	
読出書式:	SP	
応答書式:	SPn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

TR アラーム/タイマ録音

設定書式:	TRn TYe RPm RMrrr.... TSttt... TEttt... WEx... AGvv	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 1 ~ 3 (タイマ番号) e: 0 (実行しない) 1 (アラームを実行する) 2 (タイマ録音) m: 0 (一回限り) 1 (毎週) rrr: 動作モード VFx: (VFO モード) x: A (VFO-A) B (VFO-B) Z (VFO-Z) VS: (VFO サーチ) SSbb: (プログラムサーチ) bb: (サーチバンク) MRbbcc: (メモリチャンネル読み出しモード) bbcc: (メモリバンク、メモリチャンネル) MSbb: (メモリスキャン) bb: (メモリバンク) ttt.... : 開始(TS)または終了(TE)日時、一回限り: MMDDhhmm 形式、毎週: hhmm 形式 24 時間表記 x... : 曜日指定、指定する曜日の次に示す数の合計を指定 1 (日)、2 (月)、4 (火)、8 (水)、16 (木)、32 (金)、64 (土) vv: 00 ~ 99 (アラーム音量)	
補足:	毎日を指定するには、m=1、x...=127 e=0 の場合でも、省略された各コマンドの引数は初期化されず保持される アラーム/タイマ録音(タイマ番号=1 の場合)を中断する場合は、TR1 TY0 開始時刻と終了時刻が同一の場合、または、x = 0 を指定の場合は、アラームの発報/タイマ録音しない	
読出書式:	TRn	
応答書式:	TRn TYe RPm RMrrr.... TSttt... TEttt... WEx AGvv	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外、開始時刻と終了時刻が逆転している	

5-7 受信機設定

BP ビープ音

設定書式: BPn	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0 ~ 7 音量、0 (消音) 7 (最大音量)	
読出書式: BP	
応答書式: BPn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

LN LCD コントラスト

設定書式: LNnn	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 00 ~ 63、00 (もっとも薄い) 63 (もっとも濃い)	
読出書式: LN	
応答書式: LNnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

LB LCD バックライト

設定書式: LBn	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0 ~ 2 バックライトの点灯方法、0 (消灯) 1 (連続点灯) 2 (自動点灯/消灯)	
読出書式: LB	
応答書式: LBn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

LD LCD DIMMER

設定書式: LDn	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0~1 LCD の点灯方法、0 (OFF 通常点灯) 1 (ON 暗く点灯)	
読出書式: LD	
応答書式: LDn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

KL キーバックライト色

設定書式: KLn	(応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0~7 キーバックライト色、0 (OFF) 1 (BLUE) 2 (RED) 3 (MAGENDA) 4 (GREEN) 5 (CYAN) 6 (YELLOW) 7 (ORANGE)	
読出書式: KL	
応答書式: KLn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

PT プロテクト

設定書式:	PTa	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (プロテクトしない) 1 (プロテクトする)	
読出書式:	PT	
応答書式:	PTa	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	このコマンドを単体で有効化するとラストワンスメモリへの登録が無効化される。MM コマンドは無効となる。MW、MX、SE のコマンドと同時に使用した場合は、それぞれの対象項目のみのプロテクトとなる。	

ZI 受信機 ID

設定書式:	ZInn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 00 ~ 99 受信機 ID	
読出書式:	ZI	
応答書式:	ZInn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

LC 周波数情報出力

設定書式:	LCn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (情報出力しない) 1 (情報出力する)	
読出書式:	LC	
応答書式:	LCn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	出力されるメッセージは、RX コマンドにより得られるものと同じ。 出力タイミングは次のいずれか 1. スケルチ(ノイズ、レベル、トーン、DCS、逆トーン)が開いていて、かつ、受信周波数が変化した時 2. 受信周波数は変化していないが、閉じていたスケルチが開いたとき 3. 動作モードが切り替わったとき(スケルチの状態は関係なし) 4. プログラムサーチ中に SS コマンドを受信した時(スケルチの状態は関係なし) 5. メモリスキャン中に MS コマンドを受信した時(スケルチの状態は関係なし) このコマンドによる出力は、LT および RT より優先される。	

LM S メータ値取得

読出書式:	LM
応答書式:	LMkkkc
引数:	kkk: S メータ値(符号省略) c: スケルチの状態、0 (スケルチが閉じている) 1 (ノイズスケルチまたはレベルスケルチが開いている) 2 (トーン、DCS、もしくは、逆トーンが開いている) 3 (デジタル復調している)
リザルトコード:	20 --- 正常に読み出しができた 40 --- 書式誤り

LT Sメータ値定期通知

設定書式:	LTnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	nn: 00 ~ 95	Sメータ値を定期通知する間隔を指定、5単位(500mS単位)、00は通知機能停止
読出書式:	LT	
応答書式:	LTnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	10 --- 定期通知 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	Sメータ値の定期通知書式はLMコマンドの応答値と同じで、リザルトコードは異なる LC、または、RTによる通知出力タイミングと競合時はLTによる出力はしない	

RE リザルトコード付加

設定書式:	REn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (応答値の先頭にリザルトコードを付加しない) 1 (リザルトコードを付加)	
読出書式:	RE	
応答書式:	REn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

RT 受信機状態定期通知

設定書式:	RTnn	
引数:	nn: 00 ~ 95	受信機状態を定期通知する間隔、5単位(500mS単位)、00は通知機能停止
読出書式:	RT	
応答書式:	RTnn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	10 --- 定期通知 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	受信機状態の定期通知書式はRXコマンドの応答値と同じで、リザルトコードは異なる LCによる通知出力タイミングと競合時はRTによる出力はしない LTによる通知出力タイミングと競合時はLTによる出力はしない	

RX 受信機状態通知

読出書式: RX											
受信機の動作状態を通知する。通知内容は、次のとおり											
<ol style="list-style-type: none"> 1. アラームを動作中、スリープ動作中、タイマ録音中もしくは SD カード録音/再生中の場合はその先頭コマンドと引数 2. 動作モード(VFO、VFO サーチ、プログラムサーチ、メモリチャンネル読み出し、メモリスキャン) 3. 受信周波数 4. ステップ周波数 5. 受信中の復調モード 6. S メータ値 											
プログラムサーチやメモリチャンネル読み出し、メモリスキャンではバンクやチャンネル、タイトルなどが付加される											
応答書式:	<table> <tr> <td>VFO モード</td> <td>RX VFx RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc</td> </tr> <tr> <td>VFO サーチモード</td> <td>RX VS RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc</td> </tr> <tr> <td>プログラムサーチモード</td> <td>RX SRbb RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt.....</td> </tr> <tr> <td>メモリチャンネル読み出しモード</td> <td>RX MRbbcc RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt...</td> </tr> <tr> <td>メモリスキャンモード</td> <td>RX MSbbcc RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt...</td> </tr> </table>	VFO モード	RX VFx RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc	VFO サーチモード	RX VS RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc	プログラムサーチモード	RX SRbb RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt.....	メモリチャンネル読み出しモード	RX MRbbcc RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt...	メモリスキャンモード	RX MSbbcc RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt...
VFO モード	RX VFx RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc										
VFO サーチモード	RX VS RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc										
プログラムサーチモード	RX SRbb RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt.....										
メモリチャンネル読み出しモード	RX MRbbcc RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt...										
メモリスキャンモード	RX MSbbcc RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt...										
例)アラーム動作中の場合は、RX<SP>に続いて AL<SP>を付加する。例えば VFO モードのアラーム動作中の場合は、											
	RX AL VFx RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc										
ビーブ音のアラーム動作中の場合は、											
	RX AL BPx										
スリープ動作中の場合は、											
	RX<SP>につづいて SPn<SP>を付加										
タイマ録音中の場合は、											
	RX<SP>につづいて TRn<SP>を付加										
メモリチャンネル読み出しタイマ録音中の場合は											
	RX TRy MRbbcc MPp RFffff.ffff STsss.ss MDdan LMkkkc TTttt...										
SD カード録音/再生中の場合は、											
	RX<SP> につづいて SD PSTn<SP>を付加										
リザルトコード: 20 --- 正常に読み出しができた											
40 --- 書式誤り											

SB リモート回線速度 (PC と受信機との間)

設定書式: SBn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: リモート回線速度を設定、0 (115200 bps、初期値) 1 (57600 bps) 2 (38400 bps) 3 (19200 bps) 4 (9600 bps)
読出書式: SB	
応答書式: SBn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた	
40 --- (設定のみ)書式誤り	
50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

WI 受信機型式読み出し

読出書式: WI	
応答書式: AOR AR-DV1	
リザルトコード: 20 --- 読み出しができた	
40 --- 書式誤り	
補足:	応答値の先頭に WI は付加されない

RN シリアル番号

読出書式: RN	
応答書式: RN0952zzzz (受信機のシリアル番号)	
リザルトコード: 20 --- 読み出しができた	

VR バージョン情報

読出書式: VR
応答書式: VRyymms yy: 西暦年の下 2 桁、mm: 月、s... : バージョン情報(A から始まる通し番号)
リザルトコード: 20 --- 読み出しができた 40 --- 書式誤り

MM ラストワンスメモリへ手動登録

設定書式: MM / MMn (応答値を返さない正常応答、待ち応答)
引数: n: 1 または 省略 (ラストワンスメモリへ登録) 2 (コマンド設定値を明示的に(ただちに)メモリへ登録. 対象コマンドは「5-1 コマンド一覧」を参照) 3 (引数 n の 1 と 2 を同時に登録)
リザルトコード: 20 --- 登録終了 21 --- コマンド正常受信、ラストワンスメモリへの登録開始 30 --- AR-DV1 にプロテクトがかかっている 40 --- 書式誤り

RS リセット

設定書式: RSn (応答値を返さない正常応答)
引数: n: 0 (システムリセット) 1 (フルリセット)
リザルトコード: 20 --- 正常にリセットできた 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

5-8 SD カード

SD DIR ファイル一覧 (SD カードに格納されているファイルの一覧を取得)

読出書式:	SD DIR 1 ファイルにつき 1 行出力
例:	SD DIR 06201413.wav 00:05:13.5 2015/06/20 14:13:25 SD DIR nnnFILE(S) (nnn: ファイル数、ファイルがない場合は 000)
応答書式:	SD DIR ffffffff.WAV hh:nn:ss.s yyyy/mm/dd HH:MM:SS (拡張子: WAV) SD DIR ffffffff.eee nnnnnnnnnn yyyy/mm/dd HH:MM:SS (拡張子: WAV 以外) SD DIR CARDBUSY --- SD カードが別処理中のため、現在実行できない SD DIR NOCARD --- SD カードがない SD DIR FAT12 ----- カードフォーマットが FAT12 で、使用できない ? ---- その他のエラー fffffff (ファイル名)、eee (ファイル拡張子)、nnnnnnnnnn (ファイルサイズ、単位 byte) yyyy/mm/dd HH:MM:SS (年/月/日 24 時間表記の時:分:秒)、hh:nn:ss.s (録音時間)
補足:	サブディレクトリは出力しない その他のエラー を除き、最終行に ?<CR><LF> を付加しない
リザルトコード:	20 --- 正常に読み出しができた 21 --- 一覧表示出力中、継続行あり 30 --- カードがない、または検出できていない 40 --- 書式誤り

SD INF カード情報取得 (カードの空き容量(残り録音時間概算)、全体容量の読み出し)

読出書式:	SD INF
応答書式:	SD INF FREE: 967872KB (7.8H) TOTAL: 30517578KB (数値は一例) SD INF CARDBUSY --- SD カードが別処理中のため、現在実行できない SD INF NOCARD --- SD カードがない SD INF FAT12 ----- カードフォーマットが FAT12 で、使用できない ? ---- その他のエラー
リザルトコード:	20 --- 正常に読み出しができた 30 --- カードがない、または検出できていない 40 --- 書式誤り

SD PST カードアクセス状態

読出書式: SD PST
応答書式: SD PST0 --- カードあり、アクセスなし SD PST1 --- 録音中 SD PST2 --- 再生中 SD PST3 --- (録音再生以外の)別処理中 SD PST4 --- SD カードを検出していない、使用不可能なカード、もしくはその他何らかのエラー
リザルトコード: 20 --- 正常に読み出しができた 30 --- カードがない、または検出できていない 40 --- 書式誤り

SD REC 録音

設定書式: SD REC --- 録音を開始 (ファイル名は自動付与)
設定書式: SD REC/ --- 録音を終了 (コマンドの直後に / を指定)
応答書式: 応答値を返さない正常応答 --- 録音を開始、または、終了した SD REC CARDBUSY --- SD カードが別処理中のため、現在実行できない SD REC NOCARD --- SD カードがない SD REC CARDFULL --- SD カードの空き容量がない ? ---- その他のエラー
補足: その他のエラー を除き、最終行に ?<CR><LF> を付加しない
リザルトコード: 20 --- 正常に録音を開始、または、終了した 30 --- カードがない、または検出できていない、SD カードが別処理中のためカードにアクセスできない 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

SD PLY 再生 (指定したファイルを再生開始)

設定書式: SD PLYfff... --- 指定したファイルを再生開始
引数: fff... : ファイル名(拡張子不要)
設定書式: SD PLY/ --- 再生終了
応答書式: 応答値を返さない正常応答 --- 録音を開始、または、終了した SD PLY CARDBUSY --- SD カードが別処理中のため、現在実行できない SD PLY NOCARD --- SD カードがない SD PLY NOFILE --- 指定されたファイルが見つからない ? ---- その他のエラー
補足: その他のエラー を除き、最終行に ?<CR><LF> を付加しない
リザルトコード: 20 --- 正常に再生を開始、または、終了した 30 --- カードがない、または検出できていない、SD カードが別処理中のためカードにアクセスできない 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外、指定されたファイルが見つからない

SD RSQ スケルチスキップ

設定書式:	SD RSQn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (スキップしない) 1 (スキップする)	
読出書式:	SD RSQ	
応答書式:	SD RSQn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	SD カードの有無にかかわらず実行可能	

SD MMW カードへバックアップ (指定対象のバックアップを行う。SD カードに作られるファイル名は自動付与)

設定書式:	SD MMWfff...
引数:	fff... (バックアップ対象): SRCHBK (サーチバンク) SRCHGRP (サーチグループ) MEMCH (メモリチャンネル) MEMBK (メモリバンク) SCANGRP (スキャングループ) SYSYEM (システム、すべての内容)
応答書式:	応答値を返さない正常応答 --- バックアップを終了した SD MMW CARDBUSY --- SD カードが別処理中のため、現在実行できない SD MMW NOCARD --- SD カードがない SD MMW CARDFULL --- SD カードの空き容量がない ? ---- その他のエラー
リザルトコード:	20 --- 正常にバックアップを終了した 30 --- カードがない、または検出できていない、SD カードが別処理中のためカードにアクセスできない 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が指定外
補足:	バックアップは時間を要する処理ですが、応答値は終了のみ(処理中はすべてのコマンドを受け付けない) その他のエラー を除き、最終行に ?<CR><LF> を付加しない

SD MMR カードよりリストア

設定書式:	SD MMRfff...
引数:	fff... : リストア元のファイル名(拡張子は不要)
応答書式:	SD MMR CARDBUSY --- SD カードが別処理中のため、現在実行できない SD MMR NOCARD --- SD カードがない SD MMR NOFILE --- 指定されたファイルが見つからない ? ---- その他のエラー
リザルトコード:	20 --- 正常にリストアを終了した 30 --- カードがない、または検出できていない、SD カードが別処理中のためカードにアクセスできない 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が指定外
補足:	リストアは時間を要する処理ですが、応答値は終了のみ(処理中はすべてのコマンドを受け付けない) その他のエラー を除き、最終行に ?<CR><LF> を付加しない

5-9 VFO

VF VFO 受信 (指定した VFO、受信周波数、復調モードなどで受信を開始する)

設定書式: VFt RFffff.ffff STggg.gg SHhh.hh MDdan	(応答値を返さない正常応答)
引数: t: A (VFO-A) B (VFO-B) Z (VFO-Z) RF、ST、SH、MD は、それぞれ省略可能。省略した項目はコマンド受信時の設定内容を継承	
リザルトコード: 20 --- 正常に設定できた 40 --- 書式誤り	

VI VFO 情報 (VFO-A、B、Z の設定内容を読み出し、コマンド VF の書式で計 3 行出力)

読出書式: VI	
応答書式: VI VFA RFffff.ffff STggg.gg SHhh.hh MDdan VI VFB RFffff.ffff STggg.gg SHhh.hh MDdan VI VFZ RFffff.ffff STggg.gg SHhh.hh MDdan 引数については、コマンド VF の項を参照	
リザルトコード: 20 --- 正常に読み出しができた 21 --- 正常に読み出し、継続行あり 40 --- 書式誤り	
補足: 動作モード(VFO モードなど)にかかわらず、このコマンドによる読み出しが可能	

VS VFO サーチ (VFO サーチを実行)

読出書式: VS	(応答値を返さない正常応答)
リザルトコード: 20 --- 正常に実行できた 40 --- 書式誤り	

VE VFO サーチ設定

設定書式: VE DLmm FRpp ASn	(応答値を返さない正常応答)
引数: mm --- デイレー時間、01 ~ 99 (0.1 秒単位) pp --- フリー時間、00 ~ 60 (秒単位) n --- オートストア、0: OFF、1: ON	
読出書式: VE	
応答書式: VE DLmm FRpp ASn	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

5-10 サーチ

SE サーチバンク設定

設定書式: SEbb SLffff.ffff SUffff.ffff STggg.gg SHhhh.hh MDdan PTa TTttt.... (応答値を返さない正常応答)
引数: bb: バンク ffff.ffff: 上限、下限周波数 (単位 MHz) ggg.gg: ステップ周波数 (単位 kHz) hhh.hh: ステップアジャスト周波数 (単位 kHz) mn: 復調モード a: プロテクト ttt... : バンクタイトル ST、SH、MD、PT、TT は、それぞれ省略可能. 省略した項目のうち ST、SH、MD はコマンド受信時の設定内容を継承. PT はプロテクト OFF、TT はタイトルなしを設定
リザルトコード: 20 --- 正常に設定できた 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外、設定不可能

SR サーチバンク読み出し

読出書式: SRbb
引数: bb: バンク
応答書式: SE コマンド設定書式と同じ
リザルトコード: 20 --- 正常に読み出しができた 30 --- 指定したバンクは未登録 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

SS プログラムサーチ実行

設定書式: SSbb (応答値を返さない正常応答)
引数: bb: バンク
リザルトコード: 20 --- 正常に実行ができた 30 --- 指定したバンクは未登録 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

SX サーチバンク削除

設定書式: SXbb (応答値を返さない正常応答) bb: バンク
リザルトコード: 20 --- 正常に削除ができた 30 --- 指定したバンクは未登録 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

SL サーチバンク下限周波数 (現在サーチ中のバンクの下限周波数を読み出し、または、一時的に変更)

設定書式:	SLffff.fffff	(応答値を返さない正常応答)
引数:	ffff.fffff: サーチバンク下限周波数(単位 MHz)	
読出書式:	SL	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外、設定値が上限周波数よりも高い場合	
補足:	このコマンドを設定にて単体で使用した場合は、その設定は一時的な変更となり、次のいずれかの場合 (SS コマンドで他のバンクを選択や、他の動作モードに移行や、電源 OFF)に解除される。 永続的な変更は SE コマンドとともに使用した場合に限る	

SU サーチバンク上限周波数 (現在サーチ中のバンクの上限周波数を読み出し、または、一時的に変更)

設定書式:	SUffff.fffff	(応答値を返さない正常応答)
引数:	ffff.fffff: サーチバンク上限周波数(単位 MHz)	
読出書式:	SU	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外、設定値が下限周波数よりも低い場合	
補足:	このコマンドを設定にて単体で使用した場合は、その設定は一時的な変更となり、次のいずれかの場合 (SS コマンドで他のバンクを選択や、他の動作モードに移行や、電源 OFF)に解除される。 永続的な変更は SE コマンドとともに使用した場合に限る	

SG サーチグループ

設定書式:	SGgg DLmm FRpp ASn BKbbb...	(応答値を返さない正常応答)
引数:	gg --- グループ番号 mm --- デイレー時間、01 ~ 99 (0.1 秒単位) pp --- フリー時間、00 ~ 60 (秒単位) n --- オートストア、0: OFF、1: ON bbb --- バンクリンク	
読出書式:	SGgg	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

AS オートストア

設定書式:	ASn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	n: 0 (オートストア OFF) 1 (オートストア ON)	
読出書式:	AS	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- サーチ動作(VFO サーチまたはプログラムサーチ)以外 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	このコマンドは単体での使用が可能.	

BK バンクリンク

設定書式:	BKbbb...	(応答値を返さない正常応答)
引数:	bbb: リンクするバンクの一覧、各バンクは 2 桁の数値で指定、99 (すべてのリンクを解除)	
読出書式:	BK	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- プログラムサーチ動作以外 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	このコマンドは単体での使用が可能.	

PW パス周波数設定 (受信周波数、または、指定の周波数をパス周波数に設定)

設定書式:	PW / PWffff.ffff / PWbb / PWbb:ffff.ffff	(応答値を返さない正常応答)
引数:	ffff.ffff: パスする周波数 (単位 MHz) bb....: サーチバンク	
VFO サーチもしくはプログラムサーチにおいて、信号を検出しサーチが停止しているときに PW を実行すると、その時の受信周波数がパス周波数に設定される。 VFO サーチもしくはプログラムサーチにおいて、サーチの動作状態にかかわらず PWffff.ffff を実行すると、指定した周波数がパス周波数に設定される プログラムサーチにおいて、信号を検出しサーチが停止しているときに PWbb を実行すると、その時の受信周波数が指定したサーチバンクのパス周波数に設定される。ここで bb に%%を指定すると、すべてのサーチバンクが対象になる すべての動作モードにおいて、PWbb:ffff.ffff を実行すると、指定した周波数が指定したサーチバンクのパス周波数に設定される。ここで bb に%%を指定すると、すべてのサーチバンクが対象になる		
リザルトコード:	20 --- 正常に設定できた 30 --- パス周波数が設定できない動作モード、または、登録可能なパスチャンネル数の上限に達している 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

PR パス周波数一覧

読出書式:	PR (VFO サーチ)
応答書式:	PRnn,ffff.ffff / PRnn,---
読出書式:	PRbb (サーチバンク)
応答書式:	PRbbnn,ffff.ffff / PRbbnn,---
引数:	bb: サーチバンク nn: 00 ~ 49 (パス周波数の通し番号) ffff.ffff: パス周波数 サーチバンク bb を指定しない場合は、VFO サーチのパス周波数を一覧表示 サーチバンク bb を指定した場合は、指定したバンクのパス周波数を一覧表示 パス周波数は VFO をサーチ、各サーチバンクにそれぞれ 50 個ずつ登録可能 50 個に満たない場合は、登録済のパス周波数一覧に続いて周波数表示の代わりに”---“を最後の 1 行に出力
リザルトコード:	20 --- 正常に一覧の読み出しができた、最終行 21 --- 正常に一覧の読み出しができた、継続行あり 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

PD パス周波数削除

設定書式:	PD / PDbb / PDbbnn	(応答値を返さない正常応答)
引数:	bb: サーチバンク nn: 00 ~ 49 (パス周波数の通し番号)	
	PD --- VFO サーチのパス周波数の全てを削除 PDbb --- サーチバンク内の全てのパス周波数を削除. ここで、bb に%%を指定すると全バンクのパス周波数を削除 PDbbnn --- 指定したもののみを削除	
リザルトコード:	20 --- 正常に削除できた 30 --- 指定したパス周波数は存在しない 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外	

5-11 メモリチャンネル

MX メモリチャンネル設定

設定書式:	MXbbcc MPp RFffff.ffff STggg.gg SHhhh.hh MDdan PTa TTttt... (応答値を返さない正常応答)
引数:	bb: メモリバンク cc: チャンネル p: パスチャンネル ffff.ffff: 受信周波数 ggg.gg: ステップ周波数 (単位 kHz) hhh.hh: ステップアジャスト周波数 (単位 kHz) mn: 復調モード a: プロテクト ttt... : バンクタイトル MP、RF、ST、SH、MD、PT、TT は、それぞれ省略可能。省略した項目のうち RF、ST、SH、MD はコマンド受信時の設定内容を継承。MP、PT は0を設定
リザルトコード:	20 --- 正常に設定できた 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外、設定不可能な引数が指定

MA メモリチャンネル読み出し

読出書式:	MAbb / MAbbcc
引数:	bb: メモリバンク、cc: メモリチャンネル MAbb --- 指定したバンクの全チャンネル分をチャンネル数の行で出力 MAbbcc --- 指定したメモリアバンクのチャンネルのみを出力
応答書式:	設定済チャンネルは MX コマンドの設定書式と同じ 未設定チャンネルの場合は MAbbcc<SP>---
リザルトコード:	20 --- 正常に読み出しができた、最終行 21 --- 正常に読み出しができた、継続行あり 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

MR メモリチャンネル読み出しモード (指定したメモリアバンクのチャンネルで、メモリチャンネル読み出しモードで受信を開始)

設定書式:	MRbbcc (応答値を返さない正常応答)
引数:	bb: メモリバンク、cc: メモリチャンネル
リザルトコード:	20 --- 正常に設定できた 30 --- 指定されたチャンネルは未登録 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外

MS メモリスキャンモード

設定書式: MSbb	(応答値を返さない正常応答)
引数: bb: メモリバンク	
リザルトコード: 20 --- 正常にスキャンを開始できた 30 --- 指定されたバンクに登録済チャンネルはひとつもない 40 --- 書式誤り 50 --- 引数が範囲外	

MW メモリバンク

設定書式: MWbb PTa TTt	(応答値を返さない正常応答)
引数: bb: メモリバンク a: プロテクト t: バンクタイトル(12文字以内)	
読出書式: MWbb	
応答書式: MWbb PTa TTt	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 30 --- 指定したバンクは未登録 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	

MG スキャングループ

設定書式: MGgg DLmm FRpp BKbbb...	(応答値を返さない正常応答)
引数: gg --- グループ番号、00~19 mm --- デイレー時間、01 ~ 99 (0.1 秒単位) pp --- フリー時間、00 ~ 60 (秒単位) bbb --- バックリンク	
読出書式: MGgg	
応答書式: MGgg DLmm FRpp BKbbb...	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード: 20 --- 正常に設定、または、読み出しができた 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足: DL、FR、BK コマンドは単独使用可能 (グループ番号 00 のバックリンク設定も可能)	

MP パスチャンネル

設定書式:	MPp (メモリチャンネル読み出しモードで選択中のチャンネルに対して) MPbb (指定のメモリバンクに対して、すべての動作モードで可能)	(応答値を返さない正常応答) (応答値を返さない正常応答)
引数:	p: 0 (パスチャンネル解除) 1 (パスチャンネル設定) bb: メモリバンク番号(指定バンク内の全パスチャンネルを解除)	
読出書式:	MP	
応答書式:	MPp	(応答値は設定書式と同じ)
リザルトコード:	20 --- 正常に設定、または、読み出しできた 30 --- パスチャンネルが設定、解除、状態読み取りができない状態、指定されたバンクにはパスチャンネル設定がない、指定されたバンクは未登録 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	MPbb 形式の場合は、ただちにメモリに記録(「5-1 項の 注意」を参照)	

MB メモリバンク削除

設定書式:	MBbb	(応答値を返さない正常応答)
引数:	bb: メモリバンク番号	
リザルトコード:	20 --- 正常に設定できた 30 --- 指定されたバンクは未登録 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	
補足:	メモリバンク内にチャンネルが全く登録されていない場合でも正常応答 パスチャンネルも全て解除	

MQ メモリチャンネル削除

設定書式:	MQbbcc	(応答値を返さない正常応答)
引数:	bb: メモリバンク、cc: メモリチャンネル	
リザルトコード:	20 --- 正常に削除できた 30 --- 指定されたチャンネルは未登録 40 --- (設定のみ)書式誤り 50 --- (設定のみ)引数が範囲外	



Authority On Radio Communications

©2015 AOR, LTD. All Rights Reserved.

株式会社エーオーアール

〒111-0055 東京都台東区三筋 2 - 6 - 4

TEL 03-3865-1681 FAX 03-3862-9927

www.aor.co.jp (日本語サイト)

www.aorja.com (英語サイト)

kokunai@aorja.com (国内営業担当)

(第 1 版 20150909)